

聖書翻訳比較の散歩道

あなたは弱虫だ

Pro 24 : 10

BHS-LXX

<道の光>

1974年、19才の時に、教会の門を叩き、クリスチャンになりました。その当時利用していたのは、新改訳聖書でした。社会にでました。気落ちした時に、いくつかの聖書のことばが、私の心に浮かび、そこから生きる希望を受けてきました。そのひとつが、「もしあなたが苦難の日に気落ちしたら、あなたの力は弱い。」(箴言24章10節、新改訳)でした。

この箇所を尾山訳(現代訳)では、「もし逆境の時にたじろぐなら、あなたは弱虫だ。」と翻訳しています。この箇所の翻訳の違いを、BHS-LXX-日本語訳で散歩してみましょう。

尾山訳 Pro 24: 10 もし逆境の時にたじろぐなら、あなたは弱虫だ。

以下は、JB3からの情報で創った翻訳比較ノートです。

旧約聖書翻訳比較ノート Pro 24: 10

הַתְּרַפִּיּוֹת בְּיוֹם צָרָה צָר כְּפֹחֶכָה

あなたの気は 狭い 苦難の 日に あなたが弱くなる

[口語訳] もしあなたが悩みの日に気をくじくならば、あなたの力は弱い。

[新改訳] もしあなたが苦難の日に気落ちしたら、あなたの力は弱い。

[新共同] 苦難の襲うとき気力を失い、力を出し惜しみ

[NKJV] If you faint in the day of adversity, Your strength is small.

[TEV] If you are weak in a crisis, you are weak indeed.

問題となる「弱い」は、JB3搭載のBDB簡易辞書では、以下の様に表示されています。

צָר

tsar {tsar} or {tsawr}

06862

from 06887; TWOT - 1973a,1973b,1974a,1975a; adj

AV - enemy 37, adversary 26, trouble 17, distress 5, affliction 3,

foes 2, narrow 2, strait 2, flint 1, sorrow 1, misc 9; 105

1) narrow, tight

2) straits, distress

3) adversary, foe, enemy, oppressor

4) hard pebble, flint

この箇所の『新共同訳旧約聖書注解』では、「10節のマソラ本文の意味は不明瞭である」とだけ解説があります(p.213)。

関根正雄訳では、「苦難の日に弱くなるなら/お前の力は大了なものではない。」と翻訳されています。ここには、以下の注が記されています。

(2)意識で原文では前の行の「苦難」と同じ語で「お前の力は狭い」とある

この箇所を、LXXの翻訳ではどのように訳されているのでしょうか？

以下は、JLXXからコピーした情報で創った翻訳検討メモです。

<品詞色分け>

ἐν ἡμέρᾳ κακῇ καὶ ἐν ἡμέρᾳ θλίψεως ἕως ἂν ἐκλίπη
悪い日に 最悪の日に 3単アオリスト能動態

翻訳の難しさのポイントは、LXXギリシア語の ἕως + ἂν + 能動態動詞の構文をどのように理解するか、また、BHSの2人称が、3人称に置きかえられていること、さらに、BHSをギリシア語の平行法(?)で訳していること、にあるようです。

JLXXに搭載したLXXの英語の直訳では、以下の様に、訳しています。

<LXE>

He shall be defiled in the evil day, and in the day of affliction, until he be utterly consumed.

このLXEも、その翻訳には、あいまいさが残ります。その問題の中心は、LXXで唯一利用される3単の動詞です。

以下、画像は、LXXの最後に書かれる動詞 ἐκλίπη をJLXXの「ことばの研究」機能で調べたものです。

LXX ことばの研究

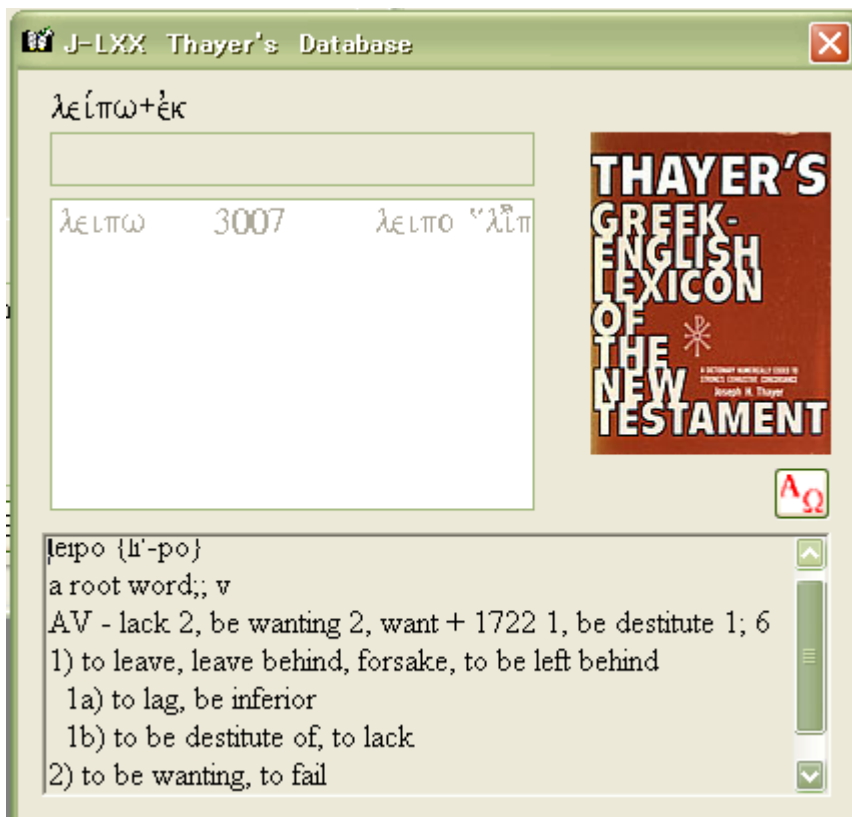
原形

意味

文法

使用回数

日本コンピュータ聖書研究会



以下は、λείπω を、織田昭「新約聖書ギリシャ語小辞典」からコピーしたものです。

λείπω [他動詞] 後に残す, 残して去る; [受動] 後に残される, 残る, 遅れる, 劣る, 欠ける, 不足する, こと欠く; [ἐν + 具格, また奪格単独と) ~ のことで, ~ に不足する, ヤコ 1:4,5. [自動詞] 遅れて来る, 残っている, 劣る, 欠乏する, 不足する; [人の与格と] だれだれには...が欠けている; ルカ18:22, ἔν σοι λείπει, 一つのことがあるに欠けている; テト3:13; ἵνα μηδὲν αὐτοῖς λείπη, 何一つ彼らに不足するものがないように; テト1:5, τὰ λείποντα, 残っていること, し残した仕事.

LXXが翻訳された時代には、λείπω の意味を拡張する、あるいは、強調する為でしょうか、λείπω の前に、ἐκを付ける用法があったようです。これをどのように翻訳するのか。前に書いた、平行法、構文法の理解と合わせて、LXXの研究者をなやませる問題ですね。

しかし、LXXは、ヘブル文化の優位性をギリシア文化の人々に伝えようと翻訳されたという前提に立てば、箴言24章10節は、当時のユダヤ人の自己啓発教訓とらえるならば、日本語訳はどうであれ、人が気落ちした時に、どのようにそこから、再チャレンジ、再生、あるいは、リバイブするのかという、方法のひとつを強烈に教えている、また、LXXの翻訳者(委員会)は、その教えを实践してきた人々であると言ってもよいかもしれませんね。

<散歩後記>

昭和30年代の「スパルタ教育」で育てられた、人々には、関根正雄訳「お前の力は大了なものではない。」が、心を打ち、現代の若者には、尾山訳「あなたは弱虫だ。」が、耳を開くのではないだろうか。